

「地域の農地を活かし、担い手を応援する全国運動」で新型コロナ禍の農業・農村を元気にする申し合わせ決議

われわれ農業委員会組織は、地域農業の持続的発展を目指して、農地を守り、活かし、耕し続ける農地利用の最適化の取り組みにまい進している。

農業委員・農地利用最適化推進委員は、これまで農業者の代表として人と人とのつながりに依拠し、地域に根ざした活動を展開してきた。この取り組みはウイルスとの共存が避けられない現在においても重要であり、継続しなければならない。

新型コロナウイルス禍にあっても、農業委員会活動の原点でもある戸別訪問等の取り組みを強化して、農業・農村の持続的な発展とその基本となる農地利用の最適化に取り組むことをここに申し合わせ決議する。

記

1. 「人・農地プラン」の実質化を踏まえた農地利用の最適化に全力で取り組もう

(1) 「戸別訪問」の取り組みを「庭先・畦道対話」等で強化しよう

新型コロナウイルス禍のもとでの「人・農地プラン」の実質化の取り組みとして、身体的距離を十分に確保した上で、「庭先・畦道対話」等の工夫をこらした戸別訪問活動を強化し、地域の農業者に寄り添い、不安の払しょくと意向の把握に努めよう。

(2) 農地利用の現状と農家の意向(気持ち)を地図化する取り組みを加速しよう

「人・農地プラン」の実質化に当たって、これまでに把握した農家の意向やアンケート結果の地図化を農地情報公開システムの活用で加速しよう。

(3) 話し合い活動の準備と実質化された「人・農地プラン」の実現に取り組もう

「人・農地プラン」の実質化のための話し合い活動の再開に向け準備に取り組もう。

また、実質化された「人・農地プラン」の実現に向けた具体的な農地の利用調整、マッチング等の取り組みを強化しよう。

(4) 農地中間管理事業の活用を推進しよう

昨年農地中間管理事業法の改正による農業委員会の農地利用の最適化の

取り組みの重点化・明確化を踏まえ、農業委員・農地利用最適化推進委員による農地中間管理事業の活用を推進しよう。

2. 農業経営の合理化と働きがいのある経営環境作りを支援しよう

認定農業者等の担い手の組織化と組織活動を支援するとともに、農業者に対する簿記記帳・青色申告の啓発・普及、法人化の指導等による経営確立の取り組みを推進しよう。

また、農業・農村における男女共同参画や労働環境の改善に向けた家族経営協定の普及推進、老後生活の安定のための農業者年金の加入推進の取り組みを強化しよう。

3. 農業者の声、地域的心声を「意見の提出」に取りまとめよう

戸別訪問等の日常活動の中から農業・農村の問題を幅広く汲み上げ、全ての農業委員会において、農業委員会法第 38 条に基づく市町村等行政機関に対する「意見の提出」をはじめとする政策提案や要請活動に取り組もう。

4. 農業委員会の体制強化に努めよう

(1) 綱紀保持の取り組みを徹底しよう

農業委員会が担っている職務と責任を自覚し、法令に則り適正に農地制度を運用するとともに、法令遵守と倫理観を高めるための研修を実施しよう。

(2) 農業委員会活動の進捗管理を徹底しよう

農業委員と農地利用最適化推進委員は活動記録簿や活動日誌等の記帳を徹底するとともに、活動状況や成果を積極的に情報発信しよう。

また、農業委員および農地利用最適化推進委員の改選に伴う引き継ぎを確実にし、切れ目の無い農業委員会活動に万全を期そう。

(3) 女性や若い農業者の登用を促進しよう

女性や若い農業者の登用に向け、市町村長等への働きかけを一層強化しよう。また、農業委員会活動に対する女性や若い農業者の関心を高め、積極的に公募に応じたり、地域の農業者・団体から推薦を得られる人材の育成・発掘の取り組みを強化しよう。

(4)ICTを活用した農業委員会活動に取り組もう

タブレットやドローン等を活用した効率的な農地パトロール(利用状況調査)に取り組もう。

また、新型コロナウイルス禍のもと、総会等がテレビ会議等オンライン上で実施できる環境整備について、実情に合わせて市町村等の協力要請に取り組もう。